

2014年

1  
月号

# 組合会報

〈発行所〉

埼玉県鍍金工業組合

〒331-0811

さいたま市北区吉野町 2-222-7

TEL 048 (666) 2184

FAX 048 (652) 7631

〈発行人・理事長〉

小林 満

〈編集人・総務委員長〉

井上 宣雄

## —今月号の主な内容—

新年の挨拶 理事長 小林 満 .....2

公害防止管理者定期研修会開催 .....3

視察研修旅行 .....4

関東甲信越静ブロック会議開催 .....7

全国鍍金工業組合連合会 第51回全国大会

創立65周年記念式典 .....8

彩の国ビジネスアリーナ 2014 .....10

埼玉県めっき技術競技会審査会開催 .....11



148号



# 新年のご挨拶

埼玉県鍍金工業組合 理事長 小林 満



あけましておめでとうございませす。

皆様ご健勝で新しい年をお迎への事とお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、アベノミクスによる円安、株高の影響で日本の景気も回復基調にあるとの報告がされています。

しかるにこれは一部大手に限られたことであり、我々中小零細企業にはその恩恵は未だにおよばず、その経営環境は一層の厳しさを

をましていると思えません。加えて、4月からの消費税の上乗せとまさに苦境に追い込まれる気配すら感じられます。

また、地球規模で大きな災害が発生した年でもありました。伊豆大島の土石流災害、フィリピンの台風被害といままで経験したこととの無い災害が発生し、決していい年とはいえなかったのではないのでしょうか。

しかし、変化は着実に起きています。経験を重ね人は進歩するものです。

日本経済も負の遺産の解消に向けて動き出し、リストラに傾いていた大企業の姿勢も新しい人材の確保に前向きになってきています。

今年こそはいい年になる、いい

年にしようではありませんか。

新年にあたり日本人の思考のDNAを少し考えてみました。おそらく世界で稀に見る寛容の精神を持っているのが我が日本人だと思います。

世界からはイエス、ノーをはっきり言わない。信仰心が無い、優柔不断だとかとかいわれがちですが、日本を旅した外国人は皆一様にその礼儀正しき、親切に驚きを隠せないようです。これは大晦日の除夜の鐘と、元旦の初詣の行動が日本人の思考のDNAとして植え込まれているからなのではないかとおもいます。

大晦日の除夜の鐘は、仏の教えに反して心ならずも犯した罪を静かに目を閉じて許しを請い、元旦の初詣には人間の力では及ばない

自然の力に今年は何卒平穏に過ごさせてくださいと祈る、この人の道を説く仏の教えと、自然をつかさどる神の力を分けて考える。こういう思考の構造を誰から教えられるではなく持っているのが日本人なのだろう。

この素晴らしい国に明るい未来があるように念じつつ、今年もよろしく願います。



# 「平成25年度公害防止管理者定期研修会を開催」



た。ております。まだふっ素・ほう素・

「公害防止管理者研修会に多くの方のご参加を頂き誠にありがとうございます。ここ数年大きな事故もなく過ごしておりますけれど、ひとえに皆様の努力のおかげと心から感謝申し上げます。先日スカイツリーのほうへ行きまして、その時隅田川を見ました。私は中学時代、都内にいまして当時40〜50年前は匂い、水の汚さが印象に残っておりましたが、先日見えてきてひよつとしたらもう泳げるのではないかと思うほどきれいになっていました。多分これは生活排水もさることながら我々の工場排水も大変きれいになってきた、そのおかげでもって川の水もきれいになってきたのかと思います。こういう地道な努力が素晴らしい結果となっているのかと思っ

ております。まだふっ素・ほう素・亜鉛・と暫定で持つて動いておりますが、出来るだけ早い時期に一律基準に到達できるようにご努力をお願いしたいと思います。この研修会が今後の排水処理能力の向上に係る一つのきっかけとして再認識していただければ、今後も努力をしていただければありがたいと思います。」

続いて、埼玉県環境部水環境課課長の永島 裕久様よりご挨拶を頂きました。

## 第1講演

「最近の水環境行政について」

講師 埼玉県環境部水環境課  
主査 吉原 忍氏

## 講演内容

1. 近年の法改正について

①水質汚濁防止法の改正状況



- ②埼玉県生活環境保全条例の改正状況
- ③第7次水質総量規制
- ④暫定排水基準の見直し
- 2. 異常水質事故の未然防止について
- ①異常水質事故の現状
- ②異常水質事故事例

平成23年10月3日(木)午後1時30分より埼玉会館にて、事業所責任者及び公害防止管理者を対象に研修会を開催した。

眞子岳志環境副委員長の司会で行われ、吉田幸司副理事長の開会の辞に続き、主催者挨拶として小林満理事長が次のように挨拶し

## 第2講演

「地下水汚染未然防止・改正水質汚濁防止法へのめつき事業所の対処方法」

講師 全国鍍金工業組合連合会

技術顧問 武田 光史氏

講演内容

1. 要旨及び構造基準について
2. 対象施設ごとの構造基準と点検方法

3. 点検が困難な場合の代替措置



4. 点検チェックシート例及び管理要領例

5. 解釈をめぐるQ&A

平成25年11月26日(火)に埼玉県鍍金工業組合事務所内の会議室において、今回開催された公害防止管理者定期研修会に都合で参加する事の出来なかつた事業所を対象に、再研修会を開催した。

当日は今回開催された研修会のビデオ上映を行い公害防止への再認識と理解をして頂きました。こ

の研修会は年々改正される環境法令・規制等を確認する重要な研修会であります。来期以降も各事業所並びに関係各位のご協力のもと年1度の定期研修に100%ご出席いただけます様、ご協力の程宜しくお願い致します。

環境委員長 出野哲也



## 視察研修旅行

富岡製糸場〜海野宿〜善光寺見学

埼玉県鍍金工業組合は、平成25年10月25日(金)・26日(土)の2日間、視察研修旅行を開催した。

初日は群馬県富岡市にある富岡製糸場を見学し、長野県東御市にある北国街道の宿場、海野宿(うんのじゅく)を観光。同県千曲市戸倉上山田温泉にて長旅の疲れを癒し、2日目は長野市の善光寺見学の工程で開催された。

金曜日朝8時45分大宮ソニックシティ周辺のバス乗り場集合し、午前9時参加者27名を乗せた観光バスは、一路群馬県の富岡製糸場へ出発。圏央道桶川北本ICより鶴ヶ島JC経由で関越道へ入り、本庄児玉経由で、神流川を越え群馬へ入った後赤城山、榛名山、秩父連山を横目に富岡IC



を降り、目的の富岡製糸場へ到着。

富岡製糸場は日本初の機械製糸工場であり、平成17年に観光客向けに整備された。現在世界文化遺産候補として世界遺産の暫定リストに入っている。設立当初は官営

で約1000人の女工が働いていた。工場の操業時間は日の出から日の入りまでで、専用の診療所も完備、等級に応じて変わる賃金等

女工の労働環境は当時としては充実していた。当時外資獲得・富国強兵の手段として着目されたのが生糸、お茶の輸出であり、国家の大プロジェクトとしてフランス・リヨンの商社、エシユト・リリアンタル商会の横浜駐在員であり技師のポール・ブリユーナの指導のもと、日本側の責任者であり後に初代場長となった尾高惇忠が資材の調達や建設工事の総指揮をとった。また、日本資本主義の父といわれ、理化学研究所の創設者でもある渋沢栄一が深く関与している点も興味深い。(尾高惇忠は渋沢栄一の義兄)

この工場に今も展示されている昭和42年製の日産製の設備が今も世界最先端の設備という点の特筆すべき点として挙げられる。工場の屋根の梁は東京タワー、スカイ

ツリーでおなじみのトラス構造で、柱がなく広いスペースが使える。大型の機械が設置できるよう工夫されている。

建物は当時としては画期的な木骨レンガ造りだが、木骨に使われた妙義山の杉は当時神木として崇められており、伐採に当たり付近の住民からの反発が強かったが、尾高はじめ関係者の「この事業は国のためになる」という懸命な説得により使用が実現した。また当時駐在していた外国人指導者の飲むワインが血に見えたことから、「異人に血を抜き取られる」と噂が立ち、女工がなかなか集まらず、惇忠の娘ゆうを女工第一号として安全を証明したこと、レンガの作り方がわからず、当時瓦産業が盛んだった深谷の職人をポール・ブリユーナが指導したことをきっかけに東京駅のレンガを作ったことで有名な日本煉瓦製造が誕生し、近代日本の建築産業の礎となった等の数々のエピソードが興味深

い。

当初はフランスをはじめとするヨーロッパ向けに輸出を行っていたが、女性のファッション革命を通し絹ストッキングが流行した影響でアメリカを中心に輸出を盛んに行い、世界的な絹製品の大众化と需要増大に貢献し、官営から民営に切り替わった後も昭和62年まで操業した。日本では現在二つの工場が、安中と山形で操業しているが、ほぼ中国とインドが世界シェアを握り、日本は1パーセン



平成26年1月20日



ト程度のシェアとなっている。

我々の住む埼玉県とも非常に縁深いところで近代的な日本のものづくりの黎明期を感じるものが出来た非常に有意義な時間だった。

製糸場近くの「和采屋 源氏」にて昼食を取った後14時に出発。富岡インターより上信越道経由で長野県に入り次の目的地の海野宿に向かった。到着後は自由散策だったが、まずは駐車場から歩いてすぐに見えてくる白鳥神社で集合写真を撮った。海野宿の産土神であ

るこの神社の境内中央にあるけやきの木は樹齢七百年を超えているそうだ。

海野宿は1625年(寛永2年)

に北国街道の宿場として江戸幕府によって設置された。海野宿には、約650mにわたり街並みが続き、本陣1軒と脇本陣2軒が設けられ、佐渡の金の江戸までの輸送、善光寺までの参拝客や、北陸諸大名の参勤交代などで利用され、非常に賑わいをみせていたようだ。現在でも本陣、脇本陣、問屋、旅籠などの跡が残っており、明治時代の養蚕業に用いられた伝統的建造物も残っている。1986年には「北国街道」が日本の道100選に選ばれ、1987年(昭和62年)には海野宿が種別「宿場町・養蚕町」で重要伝統的建造物群保存地区として選定されている。無電柱化された古き良き時代そのままの街並みを散策すると、「うだつが上がらない」という言葉の語源となつたうだつが設置された立派

な家屋が見られた。薦められて食べた蕎麦屋「福嶋屋」の胡桃お萩は素朴な見た目だが、とても美味だった。

16時に見学と散策が終了し、バスは宿泊先の戸倉上山田温泉にあるホテル「清風園」に向かい、まずは早速温泉に入り旅の疲れを癒した後、宴会を小林理事長の挨拶、石下顧問の乾杯でスタートし組合員相互の懇親を深めた後、黒澤副理事長の締めでお開きとなった。

翌日はバイキング形式の朝食の後9時に旅館出発。途中川中島の合戦の舞台、八幡原の古戦場を通過し「牛に引かれて善光寺参り」で有名な善光寺へ10時に到着、善光寺は非常に古い歴史を持つ無宗派の寺院で、本尊は三國渡来の絶対秘仏として有名な一光三尊阿彌陀如来像、その姿は住職すら目にすることはできず、ご開帳時にはレプリカの御前立を公開している。次のご開帳は平成27年だそうだ。善光寺の由来はとても古く紀元

602年と言われ、推古天皇の命により本田(本多)善光の手で初め飯田市に、次いで現在地に建立されたそう、善光寺の名は本田善光の名から付けられたそう。

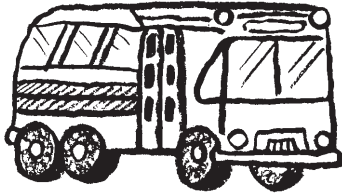
最初に本尊を祀ったとされる飯田市には元善光寺が現在も残っている。境内を散策し、本堂で有名な「お戒壇巡り」を体験したり、七味唐辛子で有名な御高札前にある八幡屋磯五郎を訪れたりしていると、すぐに集合時間となり、昼食はバスで30分程度の川中島古戦場脇



にある「おぎのや長野店」でいたただいた。こちらで土産を選んだ後、バスで帰路につき、非常にスムーズに進んだため予定より早い16時頃解散場所となる大宮駅前に到着、無事に今回の視察研修旅行を終了した。

今回、お忙しい中ご参加いただきました皆様、本当に有難う御座いました。厚く御礼申し上げます。

総務委員 山本隆治



## 平成25年度 全国鍍金工業組合連合会関東甲信越静ブロック会議



そして製造業が盛んな工業県である長野にようこそ。」との長野県の荒井理事長の開会の辞で開かれました。

長野県商工労働部ものづくり振興課の課長様、長野県中小企業団体中央会会長、そして全国鍍金組合連合会の栗原会長よりご祝辞を

いただき、全鍍連報告として近藤専務理事より説明を頂きました。

内容としては、8月23日が『めっきの日』であることから始まり、平成

25年度の事業計画、産業事故に関する報告、暫定排出基準の延長に関する報告、公害関係の法規制にかんする報告、全鍍連ホームページ

リニューアルの報告、めつき業ビジョンについて、女性部会の立

上げについて、今年度のめつき要覧とポスターについての説明と、限られた時間でしたが盛りだくさ

んのお話でありました。

時期幹事県は東京に決まり、八幡理事長より「今回は西側で、都庁の近くで開催したので、今回は東側のスカイツリーの近辺を考えているので、楽しみにしていて下さい。」のご挨拶を頂きました。

平成25年度 全国鍍金工業組合

連合会 関東甲信越静ブロック会

議は、平成25年10月11日・12日の2

日間にわたり長野県市の駅前にあ

る『ホテルメトロポリタン長野』で

盛大に開催されました。

第一部のブロック会議は、「人

口212万人、平均寿命全国1位、





聴かせて頂きました。

第三部の懇親会の席には講師の遠藤先生にもご参加いただき、他県との交流を存分に出来る様に幹事様のご配慮で各県バラバラな席順となっており、美味しい料理に舌つつみを打ちながら各県の方々とお話も弾み、また地酒をいただきながら楽しい時間を過ごす事が出来ました。

眺めの良い会場での二次会までご用意いただき、長野を満喫させて頂きました。

幹事県でいらっしゃる長野県・新潟県の皆様方には、大変お世話になりました。

副理事長 吉田 幸司

第二部の記念講演は、信州大学特別特任教授をされており工学博士でもいらっしゃる遠藤守信様より『イノベーションで拓く日本の未来』というお題で行われました。遠藤先生は先端カーボン物質について広く研究展開されており、ナノめっきについてもとても明るい方で、我が国の技術の空洞化、そして日本製造業復活のシナリオとしていかにして技術革新を進めていくべきかと熱く語られ、おもいつきり尻を叩かれるおもいで拝

## 全国鍍金工業組合連合会 第51回全国大会 創立65周年記念式典

平成25年11月22日(金)14時より東京芝の機械振興会館にて第51回全国大会が、地下2階ホールにて第一部式典、第二部懇親会は6階で出席者多数のもと行われました。

式典は、国歌斉唱、業界の物故者への黙祷の後、主催者を代表して栗原敏郎会長の挨拶では「本日は全鍍連創立65周年記念式典、全国大会に日本全国からお集まりいただきありがとうございます。」

常日頃から全鍍連事業運営にお力添えを賜りありがとうございます。

全鍍連は昭和23年8月23日(めっきの日)に「日本鍍金工業連合会」の創立総会を開催し、65年の年月が経ちました。その間先輩諸氏や業界関連の皆様を支えられ、今日を迎えられたことは大変

喜ばしい限りです。私は今年5月に会長に就任し、全5ブロック会議を周ってきましたがどこにおいても、円安が是正されたものの景況は良くないと聞きます。今後さらに消費増税が加わることとなり、ますます厳しい状況になると予想されます。本日の日刊工業新聞1面に消費税転嫁カルテルについて、全鍍連の取り組みが紹介されましたが、先ほどの理事会並びに臨時総会において皆様から正式に承認を頂きました。少しでも良い方向に業界が進んでいくよう引き続き全鍍連事業運営に鋭意努力して参りますので皆様のお力添えを宜しく願います。」と述べられ大会がスタートしました。





- 創立65周年記念表彰者  
中小企業庁長官表彰(3名)  
経済産業省製造産業局長表彰  
(9名)
- 全国中小企業団体中央会会長表彰  
(8名)
- 当組合理事長 小林 満氏  
全国鍍金工業組合連合会会長表彰  
(13名)
- 第51回全国大会表彰  
①特別功労賞(該当なし)

- ②特別功労役員表彰(12名)  
(株)長沢製作所  
田中 理功氏
- ③組合事務局優秀専従者表彰  
(2名)
- ④環境整備優良事業所表彰(7名)
- ⑤環境整備優良事業所認定事業所  
(14社)
- ⑥全国めつき技術コンクール表彰  
(92件)
- 全国鍍金工業組合連合会会長賞  
金賞
- (亜鉛めつき部門)  
(株)真工社  
東海林 了氏
- 高松電鍍工業(株)  
新 智之氏
- (株)長沢製作所  
田中 理功氏
- 銀賞
- (亜鉛めつき部門)  
ケミテック(株)  
松島 雅人氏
- 銅賞  
(装飾クロムめつき部門)  
(株)真工社  
東海林 了氏

「日本の力 めつきの力」―めつき技術は未来社会を支えるものづくりの源泉―が提出され、環境問題や経済のグローバル化、技術の高度化など、めつき企業が取り組む課題やリスクへの対応は欠かせず。

そのためには次代を担う「ひとつくり」が必要である。全鍍連の役割として、次世代経営者と先輩経営者との意見交換会、女性経営者部会の新設、各青年部代表を一同に集めた交流会等の事業を行い、

田中 理功氏  
の各名が埼玉県では表彰されまし  
た。

⑦卓越した技能者表彰(1名)  
神奈川県 (株)薄衣電解工業  
西谷重夫氏が受賞

議案1 第50回全国大会決議事項  
の経過報告  
ブロック大会経過報告  
議案2 大会宣言(スローガン)案



めつき業界の10年後、30年後、50年後を見据えた当業界を継承・発展させる事業を推進している。「日本の力」は世界でもトップレベルのめつき技術を持つ当業界が支えているという「誇り」を持ち、めつき事業者が夢と希望を持って事業活動が出来る明るい未来づくりを願う」との内容が議長である栗原会長から説明され、参加者全員の拍手で宣言案が採択されました。

続いての懇親会は経済産業省非



鉄金属課、全国中小企業団体中央会等多くのご来賓から祝辞があり、乾杯の後の祝宴は中締め挨拶までの時間が瞬く間に感じるほど和気藹々の雰囲気の中、大いに盛り上がりました。

当組合からは、島村周作名誉顧問、小林理事長、吉田副理事長、島田専務理事、井上・饗場・出野常任理事、山本理事(総務委員)が参加されました。

総務委員 山本隆治

## 彩の国ビジネスアリーナ2014

1月に恒例となったさいたま新都心でのビジネスアリーナ(展示会)に、今年も組合からの呼びかけにお答えいただいた15社が参加します。新規顧客獲得を期待して自社の技術力やサービスなどのアピールを行い、来場者・他の参

加者との情報交換や商談が積極的に行える「埼玉県の」総合展示会に、組合参加としては今年で4年目となります。

「彩の国ビジネスアリーナとは、スローガンに、中小企業の受注確保・販路開拓、技術力向上等を目的とし、広域的な企業間ネットワーク形成による新たなビジネスチャンス創出の場である展示商談会です。昨年は700社を超える出展ブースに1万6千人もの来場者が訪れています。

埼玉県は地理的にも関東地方の中心部分に位置し、首都圏と関東内陸の工業地域を繋ぐ場所に位置しているため、首都圏との「上り」も「下り」も商業圏となりうる地理的優位があります。特に表面処理

というジャンルで言うならば、その商業圏は潮目とも言うべきエリアに埼玉県は属すると考えられ、モノの動きを敏感にとらえて活動できることでしよう。我々の業界においてモノの動き方が変化しているように思います。以前は大手さんを中心に数件の会社さんでいっぱいだった品物もいつの頃からロット数が減り、回数が減りと衰弱する一方です。新たな顧客との出会いを求めることで社内の隙間を埋めなければこれからの時代を進む力を得ることはできないかもしれません。

組合でこの展示会に出展するメリットとしては、出展費用を最小限に抑えることができ、合同出展することで表面処理というジャンルに属する企業だということを認知してもらいやすくなることで





き、比較的小さい会社でも出展にかかる人も最小限にとどめることができるといったことが挙げられます。

出展のご案内を皆さんにお送りしておりますので、この展示会に参加をしていることは皆さんもご承知と思われませんが、実際に展示会をご覧になった方はまだまだ少ないように感じております。我々のブースだけでなく700を超える出展ブースを眺めるだけでも新たな出会いや新たなヒントを得る

きつけかけにもなるかと思いません。そして来年は皆さんと一緒に参加できますことを期待しております。

また、今年度の第56回めつき技術競技会・優良排水事業所の表彰式も展示会の初日(1月29日)に、プリランテ武蔵野(さいたま新都心駅)で開催されますので、こちらと合わせて皆さまのお越しをお待ちしております。

**日時**

2014年

1月29日(木) 10:00~18:00

30日(木) 10:00~17:00

**場所**

さいたまスーパーアリーナ

さいたま新都心駅より徒歩1分

**出展企業(五十音順)**

埼玉県鍍金工業組合

(有)石田電解研磨工業所

潮工業(株)

株大倉

株甲斐野テックス

(株)小林鍍金工業

(株)サニー電化

(有)島田工業所

新硬クローム工業(株)

(株)真工社

スリーケ(株)

仁科工業

新田興業(株)

(株)明光社

(有)吉田商店

吉野電化工業(株)

全10ブース使用

技術委員長

饗場功治

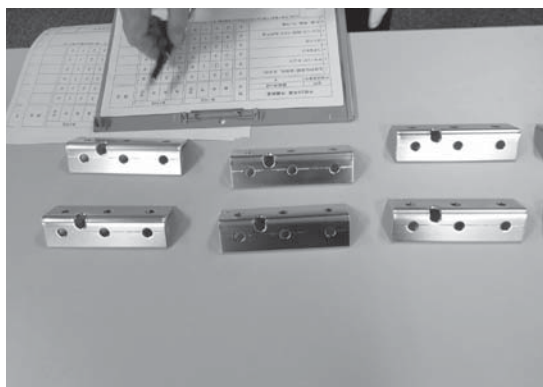


平成25年度(第56回)埼玉県めつき技術競技会審査会開催



平成25年12月3日産業技術総合センターにおいて、めつき技術競技会審査会が開催されました。

組合より小林理事長、吉田副理事長(技術委員担当)ほか技術委員5名、産業技術センターより技術支援室副室長はじめ5名の参加を頂き審査会を開始。審査基準の厚



さ試験、耐食性試験は、事前に技術センターの方々により実施されており当日は、外観検査を当日参加の組合員と星野先生、山崎先生で検査、審議をした。

技術支援室副室長のあいさつ、埼玉県鍍金工業組合小林理事長あいさつの後、今年度の技術会の概要「各部門の参加状況・中間試験結果報告」の報告の後、別室に移動後外観検査、審議に入った。各部門の検査を組合員2名で各自行いその

結果を踏まえて2名の先生が最終判断を行い、参加者全員賛同により点数が決定。

事前に出ていた厚さ試験、耐食性試験の結果に当日の外観検査の結果を加え各部門の審査結果が決定した。

総務委員 井上宣雄

■ 訃報

小林 康男さん  
(有)小林鍍金工業

前代表取締役

元監事

平成25年9月1日 逝去

享年72歳

鈴木 毅さん

興栄工業クローム株式会社

会長

元理事

平成25年11月22日 逝去

享年78歳



表紙の写真は、長野県長野市元善町にある善光寺です。

日本において仏教が諸宗派に分かれる以前からの寺院であることから、宗派の別なく宿願が可能な霊場と位置づけられています。また女人禁制があった旧来の仏教の中では稀な女性の救済(女人救済)があげられます。

境内および本堂の外陣(板敷きの間)は自由に入れますが、本堂の内陣(畳敷きの間)・お戒壇めぐり、善光寺史料館を拝観される際には、「内陣券」(大人500円)が必要です。

印刷  
保証企画工芸株式会社  
〒110-0012  
東京都台東区竜泉1-4-3  
TEL 03(3875)1641